

講座 11 ラッコと鯨が招いた日本開国史

近代日本の原点ともいえる幕末開国。来年は1854年の開国からちょうど170周年を迎える。日本開国の歴史は、とかくアメリカから来航したペリーの圧力を中心に語られることが多い。しかし、その100年も前からロシアの蝦夷地接近があり、やがて通商と開国を強く求めるようになった。ロシア・アメリカはなぜ日本の開国を求めたのか。改めて、開国に向けた両国の対外事情と日本の対応について、北海道の歴史研究家から分かりやすい解説を頂き、当時にタイムスリップして二つの視点からその歴史的背景を学ぶ。



フチャチン

ペリー

第1回 ロシアのラッコ猟問題から始まった日本開国史 (その1)

日時/11月4日(土) 10:30~12:00

第2回 ロシアのラッコ猟問題から始まった日本開国史 (その2)

日時/11月11日(土) 10:00~11:30

第3回 アメリカ捕鯨船の難破問題から始まった日本開国史(その1)

日時/11月18日(土) 10:30~12:00

第4回 アメリカ捕鯨船の難破問題から始まった日本開国史(その2)

日時/11月25日(土) 10:30~12:00

会場/石狩市花川北コミュニティセンター

講師/森山 祐吾 (北海道史研究家、ノンフィクション作家)

マスクの着用については、自主判断でお願いします。

◆申込み/締切 10月19日(木)

◆受講料/カレッジ生 500円 一般 700円 (各回ごとに徴収)

◆申込み・問合せ/いしかり市民カレッジ運営委員会事務局 (社会教育課内)

※ 電話での申し込みは平日(月~金)の9時~17時までをお願いします。

TEL/FAX: 0133-74-2249

※ ホームページ、FAXは土・日でも受付可能です。

いしかり市民カレッジ

検索